

●一次検査結果

	対象者数 (人)	受診者数 (人)		判定率 (%)	結果判定数 (人)			
		受診率 (%)	うち県外 受診		判定区分別内訳 (割合 (%))			
					A		二次検査対象者	
A 1	A 2	B	C					
合計	108,713	9,841(9.1)	3,448	9,520 (96.7)	4,043(42.5)	4,973(52.2)	504(5.3)	0 (0.0)

●二次検査結果

A判定：94.7%

	対象者数 (人)	受診者数 (人)		確定率 (%)	結果確定数 (人)			
		受診率 (%)	確定率 (%)		次回検査		通常診療等	
					A 1	A 2	うち細胞診受診者	
合計	430	353(82.1)	345(97.7)	2(0.6)	23(6.7)	320(92.8)	31(9.7)	

●細胞診結果

※小数点第一位で示されている割合は、四捨五入の関係で合計が100%とならない場合がある。

悪性・悪性疑い 16人 男性：女性 4人：12人
 平均年齢 25.4±0.7歳 (24-27歳)、震災当時16.3±1.1歳 (15-18歳)
 平均腫瘍径 15.6±12.1mm (5.3-49.9mm)

●悪性・悪性疑い16人のうち、手術実施10人（乳頭癌9人、濾胞癌1人）

第45回福島県「県民健康調査」検討委員会資料より作成

本格検査（検査3回目）の実施期間中から（平成29年度から）、本格検査の一部として、25歳になる年度に実施する検査を開始し、一次検査はこれまで実施した平成4年度から8年度生まれの対象者、二次検査は平成4年度から7年度生まれの対象者に対する検査の結果を示します。

一次検査で A 判定は全体の94.7%、B 判定は5.3%、A2判定の大半は20mm 以下のう胞、B 判定の大半は5.1mm 以上の結節、という傾向はこれまでの結果と同様でしたが、対象者の年齢が高いため、B 判定率および結節の発見率は先行検査、本格検査（検査2～4回目）と比較して高くなっていました。

二次検査では、穿刺吸引細胞診の結果、16人の方が悪性ないし悪性疑いとなっています。

本資料への収録日：2021年3月31日

改訂日：2023年3月31日